

授業科目名・形態	人間の理解 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	高橋 俊文	実務経験の有無	有	開講期	1 年前期

【授業の主題】

人間を理解する上で「人間の尊厳」は最も重要なことであり、自立・自律した生活を支えるためには尊厳の保持が基本的に必要となる。人間の尊厳・人権尊重、権利擁護の考え方が自立や自律した生活を支える為に何故必要か。本講は、尊厳と自立・自律をめぐる歴史としくみ、介護場面での倫理的課題などについて講義を通して学び、さらに、演習を通して体得し、介護福祉の倫理的課題への対応能力の基礎を養うことを目的とする。

【到達目標】

- 1) 人間の尊厳と自立の意義について、自己決定ならびに自立と自律との違いから確認できる。
- 2) 人権思想・福祉理念の歴史の変遷について、糸賀一雄『福祉の思想』、朝日訴訟と介護保険法・障害者総合支援法から確認できる。
- 3) 介護場面における自立支援について、本人主体と自己決定の観点から確認できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 人間を理解すること
- 第 3 回 人間の尊厳と利用者主体
- 第 4 回 人権思想の潮流とその具現化
- 第 5 回 人権や尊厳に関する日本の諸規定
- 第 6 回 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷—人は人をどう援助しようとしてきたか
- 第 7 回 社会福祉領域での人権・福祉理念の変遷—戦後の新たな福祉のあり方
- 第 8 回 人権尊重と権利擁護
- 第 9 回 介護保険法における尊厳と自立を考える
- 第 10 回 自立の概念の多様性
- 第 11 回 自立とは
- 第 12 回 介護を必要とする人々の自立と自立支援
- 第 13 回 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性
- 第 14 回 利用者の自立支援について考える
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義と演習で行う。

【授業準備】

- ①受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを「授業前に一度は読んでくること」
- ②余裕のある学生は教科書の該当ページにおけるわからない語句などを「専門書や辞典などを用いて調べておくこと」

【主な関連する科目】

コミュニケーション技術 I・II、介護の基本 I～VI、介護過程 I～V、生活支援技術論 I・II、日常生活支援技術演習 I～X など

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編：人間の理解（第 2 版）、中央法規、2022。

【参考文献】

必要に応じて、授業の中で適宜提示する。

【成績評価方法】

授業・演習への参加態度（主体的な授業参加度を重視する）10%、小テスト 60%、提出課題・レポート 30%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

私は、包括支援センターや障害者施設での支援実践において、クライアントの思いを受け止め「その人らしさ」を支えてきた。そのような臨床経験に立った講義展開を行う。

【学生へのメッセージ】

人間の尊厳とは何か、自立・自律した生活とは何かを新聞やニュースなどを通して、普段から深く考えるようにして下さい。